



生徒会総務・執行部のメンバーと水野浩理理事長・学校長（中央）

いつの時代も主役は生徒 個性を伸ばし、生きる力を育む教育の実践

新名学園旭丘高等学校

1902（明治35）年に新名百万女史により小田原の地に創設された「学校法人新名学園旭丘高校」（水野浩理理事長・学校長）。生徒一人ひとりの可能性を大切に建学の精神は、令和を迎えた現在も同校に受け継がれている。創立121周年を迎える10年を見据えた「未来を切り拓く人間育成」に一層力を注いでいる。

「なくてはならぬ 指折 仲間の人となれ。悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、渋柿を見よ、甘干となる」。学園創始者、新名百万女史のこの言葉には、今日のSDGsのスローガンに繋がる誰一人取り残さず、一人ひとりの人間を大切に思う心が溢れている。「この精神を継承・発展させ、子どもたちを明日に向かって育てる学校づくりを進めている」と話すのは水野学校長。様々な国籍の生徒が共に学ぶ「国際ク

1つのものを作り上げることにやりがいを感じた。インスピレーションを受け、多角的な視点でものごとを考える力をつけられるのは、この学校ならではの魅力と奥津会長は話す。

やる気を応援
放課後学習支援



多角的な視点が
身に付く環境

全校生徒の自発的な活動を促すけん引役を担うのが、生徒会総務・執行部のメンバー。奥津大雅会長（3年・クリエイティブクラス）と村山瑠唯副会長（同・進路探究クラス）、菊地琴花副会長（同・ベーシッククラス）、鈴木まひるクラブ協議会議長（2年・学業進学クラス）を中心に、9人で学園生活の向上に努める。今年度の挑戦の一つが文化祭改革。コロナ禍以前の形式で実施するにあたり、後援祭を初開催した。各学年のアイデアをまとめ、野外ステージでの文化団体発表の場を提供。フィナーレの全校集会では曲に合わせてダンスの輪が広がり、学年を超えた一体感を創出した。「様々なルーツのある人が集まり、

部活と勉強を両立
独自のプログラム



スポーツ進学クラスの田中瑠乃さん（3年）と新和佳奈さん（2年）、西村友翔さん（1年）はヒップ

ホップダンスで世界を舞台に活躍。ダンスに力を入れられる環境に魅力を感じ、揃って同校に進学した。学校外でスポーツ指導を受ける時間がカリキュラムに組み込まれており、「自分のやりたいことを伸ばせる」と田中さん。西村さんも「メリハリができ、ダンスと勉強の両立がしやすい」とうなずく。新さんは昨年、アメリカ・アリゾナ州で開催の「ヒップホップダンスチャンピオンシップ」団体戦に出場し3連覇を達成した。またこの3人は過日、中国河南省の高校生交流活動にも参加した。

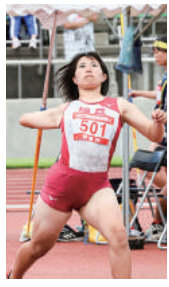
働くビジョン明確に
長期インターン制度



田宮愛翔さん（3年）は「人のために英語を使える人になりたい」と国際クラスへ。3分の1が外国籍の生徒で、「日本にいながら海外にいるような環境」と声を弾ませる。3年次に約半年間、地域の企業や団体で行う「インターンシップ（課題研究）」では、実践を積むために小田原城天守閣で外国人観光客の案内対応を経験。「最初は緊張で話せなかったけれど、回数を重ねるごとに会話ができるようになった。社会で仕事をやるイメージづくりにつながった」。また学園は、後援会活動の一環として後継指導者育成のための「フاندづくり」やイン

ターンシップと結んだ「未来観光進学コース」の新設などの計画づくりを進めています。

将来の夢見つけた
きっかけは特別授業



長塚楓さん（スポーツ進学クラス・3年）は中学時代、バスケットボール部に所属。高校から陸上競技部に所属し、やり投に挑戦した。「クラスメートは勉強と部活動を両立していて刺激になる。苦しいときにも頑張れた」と長塚さん。栄養や身体の仕組みを勉強する「基礎体力」の授業で栄養士と出会い、憧れを抱いた。「投てき競技に移行したときに苦労して。スポーツ選手をサポートする栄養管理の仕事に魅力を感じた」。指定校推薦で食物学科のある大学への進学が決まっている。

グローバルな
視野を持つ人材育成

いきいきとした表情を見せる生徒たちを見つめ、水野学校長は「今を生きる子どもたちは皆、未来を求める旅を続けている。この国でも、イスラエル・ウクライナでも」と温かいまなざしを向ける。「Think Globally, Act Locally」の視野を持った人づくりを目指す同校の挑戦と実践は、これからも発展し続ける。

無限の可能性を追求 躍進の記録



悲願の全国制覇 相撲部

デルゲルバトさん（3年・スポーツ進学クラス／後列中央）が「第72回全国高校相撲十和田大会」の個人戦で優勝。2011年の立ち上げ以来、初の全国制覇を成し遂げました。またインターハイでは個人体重別戦100kg級で、バトボルドさん（1年・同／前列中央左）が5位に入賞を果たしています。



ボウリング競技 国民体育大会で6位入賞
川合亜門さん（2年・スポーツ進学クラス）が昨年、国体ボウリング少年男子団体で、初出場ながら6位に入賞しました。今年5月開催のNHK杯の出場権も獲得しています。



卒業生の活躍

昨年ジョイジスレンさん（阿武剣／2018年度スポーツ進学クラス卒）とグライバートルさん（旭海雄／同）が角進学クラスで、初の全国制覇を成し遂げました。また、奥知久さん（2022年に学生機構も獲得しています。また、奥知久さん（2020年度スポーツ進学クラス卒・日体大3年）も昨年、世界相撲選手権重量級で3位に入賞しています。



税に関する高校生の作文で小田原税務署長賞
国税庁主催の「税に関する高校生の作文」で高垣ひなたさん（3年・国際クラス）が、応募約17万点の中から小田原税務署長賞を受賞。小田原税務署長から表彰状が授与されました。



卒業生の活躍

山中健太さん（2022年度スポーツ進学クラス卒・東海大1年）が走高跳で関東学生新人陸上競技選手権大会で優勝、県強化選手にも選出されています。在校中は2022年の国体で7位入賞、インターハイ決勝ラウンドなどにも進出しています。



陸上競技部の4人が関東大会出場

男子走高跳の利光蓮一弥さん（3年・スポーツ進学クラス）、男子走高跳の浅野敦哉さん（2年・スポーツ進学クラス）、男子三段跳の柴前田右京さん（3年・スポーツ進学クラス）、女子やり投の長塚楓さん（3年・スポーツ進学クラス）がそれぞれ関東大会に出場しました。



自転車競技 関東・インターハイに初出場

自転車競技の関東大会に中西修策さん（2年・クリエイティブクラス）が個人ロードレースの部、岸大地さん（2年・普通学科・一般クラス）が個人ロードレースとケイリンの部に出場しました。中西さんはインターハイへと駒を進め、健闘しました。

学校法人 新名学園 旭丘高等学校

<http://www.niina-gakuen.jp/>

～多彩な学科とクラス・分ける授業・楽しい学校～

2024年度 生徒募集

・体験入学・セミナー開催 1月13日（土）9:00～12:30 ・二期募集 3月4日（月）実施

- 普通学科（一般・クリエイティブ）
- 総合学科（国際・学業進学・スポーツ進学・進路探究）
- ベーシッククラス（不登校生徒の再チャレンジをサポート）

